

一般質問通告書

2026年2月25日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 5番 松木純子

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 1)	新ごみ処理施設計画の決定プロセスは適切であったのか～将来世代への責任について～
発言事項	
要旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
	<p>高島市新環境センターの造成工事に係る新ごみ処理施設整備事業の予算が、令和7年度高島市一般会計補正予算案として計上されました。</p> <p>しかしながら、市長は「住民合意が大変重要である」と発言されている一方で、一部自治会ではいまだ合意が得られていないと伺っております。</p> <p>そのような状況を受け、令和7年12月議会において議案第92号「高島市一般会計補正予算(第6号)」に対し、市民クラブすばる会派として附帯決議を提出し、可決されたところであります。</p> <p>そもそも、搬入道路が確定していない段階で予定地を購入した前市政の判断により、周辺自治会との関係に摩擦が生じ、結果として搬入道路の確定が難航しているのではないのでしょうか。</p> <p>公共事業の意思決定プロセスとして、これで適切であったのか、大きな疑問を感じております。</p>

新ごみ処理施設の具体的なスケジュールと具体的な内容が明らかになった時点において、適切かつ早期に周辺住民に説明するべきではなかったでしょうか。

また、令和5年1月には「高島市のごみ減量と新しいごみ処理施設に関する市民アンケート」が実施されていますが、市民説明会など、オープンな場での意見交換は十分に行われてきたとは言えません。

アンケートは一方通行になりがちですが、対面での説明会であれば

- ・ 市民の率直な意見を聞くことができる
- ・ 行政側が考えを修正する機会になる
- ・ 第三の選択肢が生まれる可能性もある

と考えます。

高度経済成長期とは異なり、これからは人口減少・少子高齢化が進む時代です。

建設後の財政負担も含め、市民と情報を共有し、知恵を出し合う姿勢こそが、持続可能な市政運営につながるのではないのでしょうか。

そこで、以下について質問します。

① 委託処理費と新施設運営費の比較について

既存のごみ処理施設は経費の削減などの理由により平成30年2月末で稼働を停止しました。

それ以降、市内で発生する燃やせるごみは、三重県伊賀市の民間事業者へ処理を委託している状況が続いています。

- ・ 伊賀市の民間事業者への年間委託費はいくらか。
- ・ 新たに施設を建設した場合の年間運営費の見込みはいくらか。
- ・ 両者を比較した場合、市としてどのように評価しているのか。

② 将来人口減少と市民一人当たり負担について

現在の高島市の人口は約4万5千人ですが、25年後には約3万人になると推計されています。

高齢化も進み、その頃には約半数が65歳以上になる見込みです。

仮に施設の運営費が大きく変わらない場合、納税者一人当たりの負担は増加することが予想されます。

- ・ 将来人口減少を踏まえた財政シミュレーションは行っているのか。
- ・ 1人あたりの負担の見通しについて市の考えを伺います。

③ ごみ排出量の推移と減量対策について

人口は減少傾向にあるにもかかわらず、ごみ排出量は大きく減少していないように見受けられます。

- ・ 市として現状をどのように分析しているのか。
- ・ 新施設の規模は将来のごみ減量をどの程度見込んで設計しているのか。